

小林 克

こばやし すぐる / Kobayashi suguru

| | | |
|------------------|---|---|
| 所属・役職 | 日本工業大学 大学院 技術経営研究科 准教授 |  |
| 活動拠点 | 東京、千葉、埼玉、神奈川、新潟 | |
| 略歴 | 2016年 法政大学大学院 イノベーション研究科 修了 2016年 木更津商工会議所 中小企業相談所 経営指導員 2019年 公益財団千葉県産業振興財団 経営革新等認定支援機関 統括責任者 2020年 日本工業大学大学院 技術経営研究科 准教授 2025年 日本工業大学大学院 技術経営研究科 中小企業診断士登録養成課程 主幹 2026年 日本工業大学大学院 技術経営研究科 学務長 | |
| こんなことを 支援できます | ①地域型ビジネス・スタートアップ支援 <ul style="list-style-type: none">・地域課題を実践をもとに解決方法を自治体・起業家に助言・地域課題を解決するビジネスプランの実践に向けた伴走型支援・起業家・地域事業者への伴走支援（事業計画策定、資金調達、進捗管理） ②地域ブランディング・地域ビジネス支援 <ul style="list-style-type: none">・データ分析に基づく地域ブランド戦略策定・コミュニケーション施策立案・地域産品の掘り起こし、高付加価値化から販売拡大に向けたブランディング支援・情報発信・プロモーション施策の企画立案支援 ③オープンデータ・AI活用 <ul style="list-style-type: none">・生成AIを活用した業務改善相談・支援・地域事業者・中小企業のDX推進計画策定および実行支援 ④スマートシティ・地域ビジネス支援 <ul style="list-style-type: none">・地域ビジネス・スタートアップ支援に関する相談・地域ビジネス・スタートアップ支援の係わる行政における相談対応の構築 ⑤GIS・地域情報の活用 <ul style="list-style-type: none">・GISを活用した地域課題の可視化・分析・GISを活用した地域経済に向けた支援体制および支援施策の提言 | |
| 自治体向け メッセージ | 地域の現場で共に汗をかき、実装に向けて伴走します。 | |

<主な専門分野>※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

ビ 地域ビジネス **起** スタートアップ支援 (起業支援) **AI** AI活用

＜地域情報化に関する実績＞

1. 木更津ブルーベリー構想

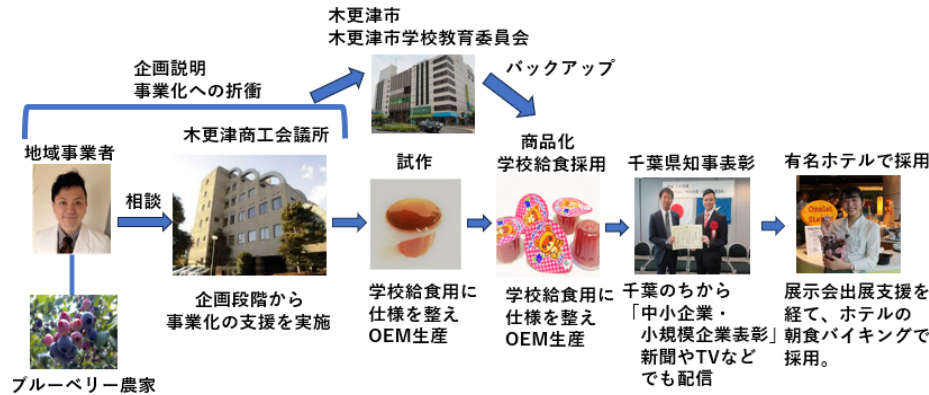
千葉県木更津市のブルーベリーは県の地域資源に登録されているものの、認知度不足やブランド力の弱さから、加工品販売の不振や規格外生果の廃棄が課題となっていた。

そこで、市場データ分析により課題を可視化し、地元薬剤師と連携して子ども向け栄養強化ゼリーを開発。

あわせて、生産から販売までの連携体制を確立した。

市の支援を得て木更津市学校給食に採用され、地産地消モデルを構築。本取組への評価が広がり、外資系有名ホテル等の朝食バイキングでも採用され、年間10万個超を販売した。

地域内連携による持続的な活性化モデルとして発展させ、企画から事業化まで一貫して支援を行った。



2. (千葉県千葉市) 市内農業事業者に向けた支援制度設計と活用したハンズオン支援

公益財団法人千葉市産業振興財団において市内農業事業者支援に従事する中、農業事業者へのヒアリングおよび現場データの収集・分析を実施。これらを踏まえ、千葉市担当者からの相談を契機に、現場ニーズに基づく施策立案を行った。千葉市と連携し、「6次産業化支援事業(補助事業)」を企画、事業骨子を策定。あわせて、制度活用に関するハンズオン支援を実施し、市内苺農家と菓子メーカーのマッチングを実現。農産物の生産から製品開発・商品化までを一体的につなぐ支援スキームを構築した。



3. GIS情報をもとにした市内経済支援計画の策定

GISデータを活用した地域分析および事業者情報の可視化により、木更津市内事業者に対する支援計画を策定。同計画は木更津商工会議所より経済産業省へ申請され、「経営発達支援計画」として認定を受け、5か年にわたる事業者支援方針を確立した。

計画に基づき、データに基づくセミナー企画・実施、木更津市役所および地域支援機関の施策と連動した支援プログラムの設計、施策情報の発信と活用促進、支援実績の進捗管理までを一貫して実行した。

